

令和6年度 浜松市立蛸塚中学校 学校評価報告書

I 令和6年度の取組

学校教育目標	目指す生徒の姿	目指す学校像
より高く より優しく より強く ～豊かな心を持ち、粘り強く実践する生徒の育成～	自ら学ぶ力を身に付けた生徒 思いやりの心をもった生徒 やりぬく粘り強さをもった生徒	誰もが安心して精一杯学び合うことができる学校 ～「厳しく・温かく・安全な」学校～

II 自己評価

○生徒の評価 (/100%)

私は学校生活において「達成感」を味わうことができている。	76
先生方は分かりやすい授業をしてくれている。	86
先生方は授業でICT機器を効果的に活用してくれている。	84
私は家庭学習に自ら進んで取り組んでいる。	76
私は自分の考えを自分の言葉で説明することができる。	74
私は積極的に授業に参加している。	80
私は読書が好きである。	78
私はキャリア教育の「みがく力」をのばすことを意識している。	70
先生方は困ったときに相談にのってくれる。	84
先生方はいじめやけんか、人間関係のトラブル等の問題に、しっかりと対応してくれている。	84
先生方は生徒が生活や学習をする上で困っていることに対して配慮をしてくれている。	84
私は健康・体力が向上するよう努めている。	80
私は1日の睡眠時間を6時間以上とっている。	82
私はゲームやスマホ、インターネット等の利用について家族と決めた約束を守っている。	76
私は校内生活や登下校時、安全について意識している。	84
私は好き嫌いなく食べるよう努力している。	82
先生方(学校)は必要な情報をたよりやホームページ、メール等で伝えてくれている。	78
学校は学校行事や授業参観等を保護者や地域に積極的に公開している。	80
先生方とPTAは学校行事等、さまざまな活動で連携していると思う。	76
学校と家族は自分のことで連絡を取り合って連携していると思う。	76

学校の施設や設備は充実している。	78
私は部活動に積極的に取り組んでいる(いた)。※未加入者はわからないを選択	70
私は自分の夢や目標に向かって努力している。	78
私は友達と協力し、思いやりの心を大切に活動している。	84
私は、係や当番、行事などで自分の役割を果たし、よりよい学校生活を築こうとしている。	84
私は、「向上心」「優しさ」「たくましさ」を大切に、豊かな心で学校生活を送っている。	80
私は、蛸塚中学校の生徒の一員として母校や地域を大切に、責任ある行動を心がけている。	80

○保護者の評価 (/100%)

子どもは学校生活において「達成感」を味わうことができている。	78
学校は分かりやすい授業づくりに努力している。	80
学校は授業でICT機器を効果的に活用している。	70
子どもは家庭学習に毎日取り組んでいる。	78
子どもは自分の考えを自分の言葉で説明することができる。	82
子どもは積極的に授業に参加している。	76
子どもは読書が好きである。	66
学校は子どもに、キャリア教育の「みがく力」を身に付けさせようとしていることを知っている。	62
学校は子どもが困ったときに相談にのってくれる。	80
学校はいじめやけんか、人間関係のトラブル等の問題に、しっかりと対応してくれている。	78
学校は子どもが生活や学習をする上で困っていることに対して配慮をしてくれている。	80

学校は子どもの健康・体力が向上するような指導に努めている。	76
子どもの就寝時間、起床時間は適切で十分に睡眠がとれている。	78
子どもはゲームやスマホ、インターネット等の利用について家庭で決めた約束を守っている。	74
学校は校内生活や登下校時、安全についての指導をしてくれている。	76
学校は子どもが望ましい食習慣を身につけるよう指導してくれている。	74
学校は必要な情報をたよりやホームページ、メール等で伝えてくれている。	88
学校は学校行事や授業参観等を保護者や地域に積極的に公開している。	88
学校とPTAは学校行事等、さまざまな活動で連携していると思う。	76
学校と我が家は子どものことで連絡を取り合って連携していると思う。	82
学校の施設や設備は充実しており、教育環境が整えられている。	80
子どもは部活動に積極的に取り組んでいる。※未加入者はわからないを選択	66
子どもは自分の夢や目標に向かって努力している。	76
子どもは友達と協力し、思いやりの心を大切に活動している。	84
子どもは、係や当番、行事などで自分の役割を果たし、よりよい学校生活を築こうとしている。	82
子どもは、「向上心」「優しさ」「たくましさ」を大切に、豊かな心で学校生活を送っている。	84
子どもは、蛸塚中学校の生徒の一員として母校や地域を大切に、責任ある行動を心がけている。	76

○分析・考察

【学習】学校での学習活動に関する項目について、生徒の満足度は高い。保護者は、生徒に比べ若干低いが「わからない」と回答した保護者も多く、学校での取り組みが発信できていないという点が理由として推察される。今後も丁寧な学習指導を図ると同時に、学校での活動を発信していく工夫が求められる。
【教職員との関わり】生徒や保護者との関わりは、おおむね良好な結果が読み取れる。ただし、学級や学年によって結果に差もあり、学級担任の毎日の語りかけ等、身近な教職員との日頃の関係づくりや、教育相談や三者面談の持ち方も、改善していく必要がある。
【いじめに関する取組】いじめ認知を学校全体で行っており、教職員による情報の共有ができていた。生徒指導、生徒理解のためにはままついじめアンケートを有効に活用できている。

III 学校運営協議会による学校関係者評価

・生徒、保護者の評価を読み取ると、思いやりの様子が育っていることやよりよい学校生活の様子が伝わってくる。
・「授業の分かりやすさ」や「トラブルの解決」に関する項目について、生徒と保護者との数値の乖離が気になった。原因についての分析が必要である。
・生徒が地域を大切にしていることが分かる。
・学校に関わる情報を公開していることはありがたいと感じている。
・「読書」に関する内容や「みがく力」を意識した授業づくりが望まれる。
・心の成長が「いじめ」に関わる事案の減少につながっていくと考えている。今後も思いやりの心の育成は重要である。

IV 今後の改善点

【信頼づくり】 教職員が働きがいを感じながら日々の業務に取り組んだり、自らの資質・能力の向上を目指して研修に励んだりする姿勢から、地域・保護者の信頼（通わせがい・支えがい）を高めていく。
【今を生きる力の育成】 知・徳・体の視点から、「より高く」「より優しく」「より強く」をキーワードに掲げ、生徒が学びがい（学びを通して得られる達成感）を味わうことができる取組を工夫する。
【未来を生きる力の育成】 令和6年度は、生徒の実態を踏まえ、「みがく力」（自己理解・自己管理能力）の育成を意識したキャリア教育を実践してきた。しかし、生徒の変容はすぐに表れるものではないことがアンケート結果から見えてきた。そこで、令和7年度も継続して「みがく力」の育成を意識したキャリア教育を意図的・計画的に推進していく。
【いじめ防止に関する取組】 学級、授業、特別活動、部活動等、学校の教育活動全体で心の成長につながる取組を工夫する。また、学校、地域、家庭が一体となって子供を見守る体制を整え、子供のささいな変化に気付く力を高め、いじめの早期発見、スピード感ある組織対応に繋げる。